株式会社医学生物学研究所

初版作成日 : 2020年01月06日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Magnosphere MS160/Streptavidin
製品コード:J-MS-S160S

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 一般工業品
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
住所 : 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目5番3号
担当部署 : SDSサポート
電話番号 : 052-238-1901
FAX : 052-238-1440
e-mail address : sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
分類基準に該当しない。
GHSラベル要素
絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
三四酸化鉄	1309-38-2	<0.5	1-357
アジ化ナトリウム	26628-22-8	<0.1	1-482
スチレン系樹脂	非公開	＜0.5	非公開
アクリル系樹脂	非公開	＜1	非公開
添加剤	非公開	＜1	非公開

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤
特になし。
特有の危険有害性
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水に排出するときは大量の水で希釈して排出すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
皮膚との接触をさけること。
(局所排気、全体換気)
特になし。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。
接触回避データなし
保管
安全な保管条件データなし
安全な容器包装材料
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度データなし
許容濃度

（酸化鉄）
日本産衛学会 第2種粉塵
吸入性粉塵1mg/m3
総粉塵4mg/m3
（アジ化ナトリウム）
ACGIH(1992) STEL: 上限値 （アジ化ナトリウムとして）0.29mg/m3;（アジ化水素酸の蒸気として）0.11 ppm（心臓損傷; 肺障害）

ばく露防止
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 懸濁液
色 : 茶褐色
臭い : 無臭
pH : 6.8～7.6
沸点又は初留点 : 約100℃
融点/凝固点データなし
分解温度データなし
可燃性（ガス、液体及び固体）データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
直射日光、高温体との接触を避ける。
混触危険物質
強酸、強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

（アジ化ナトリウム）

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

（酸化鉄）

rat LD50＞5,000 mg/kg

急性毒性（経皮）

（アジ化ナトリウム）

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

（アジ化ナトリウム）

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

（アジ化ナトリウム）

皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

（アジ化ナトリウム）

ACGIH-A4(1992)： ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 成分データ

（アジ化ナトリウム）

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50＝0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

（酸化鉄）

魚類（コイ科）LC50 ＞100 mg/L

細菌（シードモナス）EC50 ＞1,000 mg/L

水溶解度

（アジ化ナトリウム）

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17℃) (ICSC, 2014)

残留性・分解性

（アジ化ナトリウム）

直接測定(HPLC)による分解度：1% (既存点検)

生体蓄積性

（アジ化ナトリウム）

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

廃棄の前に、可能な限り無害化・安定化等の処理をおこなって危険有害性レベルを低下させる。法令に従って廃棄する。

汚染容器及び包装

容器は水で十分に洗浄し、法令に従って適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

三四酸化鉄(法令番号 52)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
Supplier's data/information